



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月11日

上場会社名 株式会社 村上開明堂 上場取引所 東
 コード番号 7292 URL http://www.murakami-kaimeido.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経営管理部長 (氏名) 長谷川 猛 TEL 054-253-1811
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 平成26年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 29,380 | △1.8 | 2,414 | 4.1 | 2,837 | 4.3 | 1,890 | 13.9 |
| 26年3月期第2四半期 | 29,917 | △2.4 | 2,318 | △8.9 | 2,721 | △1.9 | 1,659 | △34.1 |

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,540百万円 (△56.8%) 26年3月期第2四半期 3,563百万円 (38.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | 146.18 | — |
| 26年3月期第2四半期 | 128.26 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | 58,634 | 41,361 | 67.3 | 3,050.11 |
| 26年3月期 | 58,250 | 40,324 | 65.7 | 2,957.32 |

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 39,442百万円 26年3月期 38,247百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 8.00 | — | 10.00 | 18.00 |
| 27年3月期 | — | 10.00 | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | — | — | 9.00 | 19.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

平成27年3月期第2四半期末1株当たり配当金につきましては、9円00銭から1円00銭増配の10円00銭に決定いたしました。なお、平成27年3月期期末配当予想につきましては変更はございません。詳細につきましては、本日公開の「剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 62,200 | 0.1 | 4,700 | △6.6 | 5,000 | △9.2 | 3,050 | △11.9 | 235.83 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一
なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結累計期間において、Murakami Manufacturing Mexico, S. A. de C. V. を連結の範囲に含めており、株式会社湘南光膜研究所を連結の範囲から除外しております。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 27年3月期2Q | 13,100,000株 | 26年3月期 | 13,100,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期2Q | 168,351株 | 26年3月期 | 166,953株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 27年3月期2Q | 12,932,325株 | 26年3月期2Q | 12,936,901株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が見られたものの、経済対策や金融政策等を背景に円高の是正効果が継続し、景気は緩やかながら回復基調で推移しております。世界経済全体では、新興国での経済成長の鈍化等の不安要素はあるものの、米国での景気回復等を背景に全体的には低調ながら堅調に推移いたしました。

主要取引先であります自動車業界においては、国内における自動車生産台数は、消費税導入後の反動減が懸念されましたが、景気の回復に支えられ昨年に比べ、ほぼ横ばいとなりました。また、海外における自動車生産台数は、タイ国で減産となったものの、北米や中国等での堅調な需要拡大により昨年を上回ることとなりました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内における自動車用バックミラー販売の減少が響き、29,380百万円（前年同期比1.8%減）となりました。利益につきましては北米拠点の業績が好調に推移したこと等により、営業利益は2,414百万円（前年同期比4.1%増）、経常利益は2,837百万円（前年同期比4.3%増）、四半期純利益1,890百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

主力の自動車用バックミラーの販売が減少した結果、売上高は17,305百万円（前年同期比3.8%減）となり、営業利益は1,305百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

②アジア

タイ国での自動車販売の低迷が響き、売上高は7,490百万円（前年同期比6.8%減）となったものの、営業利益は合理化施策の効果等により、683百万円（前年同期比11.9%増）となりました。

③北米

堅調な個人消費の回復や新車への買い替え需要の増加等により、自動車生産台数が増加した結果、売上高は4,584百万円（前年同期比18.1%増）となりました。営業利益は売上高の増加や合理化施策の効果等により、404百万円（前年同期比407.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、58,634百万円となり、前連結会計年度末に比べて384百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が629百万円増加、有形固定資産が349百万円減少したことなどによるものであります。

負債の残高は、17,273百万円となり、前連結会計年度末に比べて653百万円減少いたしました。これは、主に短期借入金120百万円減少、未払法人税等が233百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の残高は、41,361百万円となり前連結会計年度末に比べて1,037百万円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が1,583百万円増加、為替換算調整勘定が579百万円減少したことなどによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では平成26年5月13日に公表いたしました業績予想について、特に変更はありませんが、今後様々な要因により予想数値の修正を行う必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第2四半期連結累計期間において、連結の範囲の重要な変更を行っております。

（連結の範囲の重要な変更）

前連結会計年度において非連結子会社でありましたMurakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、前連結会計年度において連結子会社でありました株湘南光膜研究所は、清算終了したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が274百万円増加し、繰延税金資産が96百万円増加、また、利益剰余金が177百万円減少しております。なお、第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 17,382 | 18,011 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,374 | 7,702 |
| 電子記録債権 | 759 | 697 |
| 商品及び製品 | 1,048 | 920 |
| 仕掛品 | 757 | 1,119 |
| 未成工事支出金 | 99 | 58 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,840 | 1,762 |
| 繰延税金資産 | 708 | 709 |
| その他 | 1,075 | 740 |
| 貸倒引当金 | △10 | △12 |
| 流動資産合計 | 31,035 | 31,709 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 13,806 | 13,507 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △5,632 | △5,538 |
| 建物及び構築物（純額） | 8,174 | 7,968 |
| 機械装置及び運搬具 | 20,619 | 20,492 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △15,062 | △15,197 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 5,556 | 5,295 |
| 工具、器具及び備品 | 16,605 | 16,575 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △15,595 | △15,738 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 1,010 | 836 |
| 土地 | 5,086 | 5,072 |
| リース資産 | 445 | 418 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △395 | △389 |
| リース資産（純額） | 49 | 28 |
| 建設仮勘定 | 1,012 | 1,338 |
| 有形固定資産合計 | 20,890 | 20,541 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 602 | 555 |
| 投資有価証券 | 3,322 | 3,628 |
| 投資不動産 | 2,058 | 1,733 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △458 | △329 |
| 投資不動産（純額） | 1,599 | 1,404 |
| 繰延税金資産 | 114 | 104 |
| その他 | 690 | 694 |
| 貸倒引当金 | △4 | △2 |
| 投資その他の資産合計 | 5,722 | 5,828 |
| 固定資産合計 | 27,215 | 26,925 |
| 資産合計 | 58,250 | 58,634 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,284 | 4,431 |
| 電子記録債務 | — | 1,787 |
| 短期借入金 | 3,978 | 3,858 |
| 未払法人税等 | 917 | 684 |
| 繰延税金負債 | 27 | — |
| 製品保証引当金 | 639 | 611 |
| 賞与引当金 | 813 | 914 |
| 役員賞与引当金 | 22 | 24 |
| その他 | 2,426 | 2,066 |
| 流動負債合計 | 15,110 | 14,377 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 394 | 381 |
| 繰延税金負債 | 64 | 56 |
| 役員退職慰労引当金 | 791 | 734 |
| 退職給付に係る負債 | 1,198 | 1,431 |
| 資産除去債務 | 56 | 56 |
| その他 | 310 | 235 |
| 固定負債合計 | 2,816 | 2,895 |
| 負債合計 | 17,926 | 17,273 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,165 | 3,165 |
| 資本剰余金 | 3,528 | 3,528 |
| 利益剰余金 | 29,017 | 30,601 |
| 自己株式 | △138 | △141 |
| 株主資本合計 | 35,571 | 37,153 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,272 | 1,470 |
| 為替換算調整勘定 | 1,351 | 771 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 50 | 47 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,675 | 2,289 |
| 少数株主持分 | 2,076 | 1,918 |
| 純資産合計 | 40,324 | 41,361 |
| 負債純資産合計 | 58,250 | 58,634 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日） |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 29,917 | 29,380 |
| 売上原価 | 25,170 | 24,511 |
| 売上総利益 | 4,747 | 4,869 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運送費及び保管費 | 355 | 353 |
| 役員報酬 | 140 | 123 |
| 従業員給料 | 699 | 728 |
| 賞与引当金繰入額 | 184 | 178 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 21 | 24 |
| 退職給付費用 | 31 | 47 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 19 | 20 |
| 福利厚生費 | 176 | 166 |
| 旅費交通費及び通信費 | 131 | 134 |
| のれん償却額 | 7 | — |
| 減価償却費 | 81 | 119 |
| その他 | 580 | 558 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,428 | 2,455 |
| 営業利益 | 2,318 | 2,414 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 16 | 22 |
| 受取配当金 | 35 | 39 |
| 受取地代家賃 | 87 | 72 |
| 受取ロイヤリティー | 63 | 60 |
| 為替差益 | 35 | 9 |
| 開発業務受託料 | 35 | 74 |
| その他 | 169 | 183 |
| 営業外収益合計 | 444 | 462 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14 | 13 |
| 賃貸費用 | 21 | 19 |
| その他 | 4 | 5 |
| 営業外費用合計 | 41 | 39 |
| 経常利益 | 2,721 | 2,837 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 25 | 7 |
| 関係会社出資金譲渡益 | 66 | — |
| 特別利益合計 | 92 | 7 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 6 | 35 |
| 特別損失合計 | 6 | 35 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,807 | 2,809 |
| 法人税等 | 914 | 766 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,893 | 2,042 |
| 少数株主利益 | 234 | 152 |
| 四半期純利益 | 1,659 | 1,890 |

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日） |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,893 | 2,042 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 235 | 197 |
| 為替換算調整勘定 | 1,456 | △696 |
| 退職給付に係る調整額 | — | △3 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △21 | — |
| その他の包括利益合計 | 1,669 | △502 |
| 四半期包括利益 | 3,563 | 1,540 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,163 | 1,469 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 399 | 70 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|-------|--------|-----|--------|
| | 日本 | アジア | 北米 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,996 | 8,038 | 3,881 | 29,917 | — | 29,917 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 1,605 | 507 | 0 | 2,113 | — | 2,113 |
| 計 | 19,601 | 8,546 | 3,882 | 32,030 | — | 32,030 |
| セグメント利益 | 1,426 | 610 | 79 | 2,116 | — | 2,116 |

(注) 本邦以外の区分に属する国又は地域は以下のとおりであります。

アジア：タイ、中国、インドネシア

北米：米国

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 2,116 |
| 「その他」の区分の利益 | — |
| セグメント間取引消去 | 426 |
| 全社費用（注） | △224 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 2,318 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|-------|--------|-----|--------|
| | 日本 | アジア | 北米 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,305 | 7,490 | 4,584 | 29,380 | — | 29,380 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 1,855 | 544 | — | 2,400 | — | 2,400 |
| 計 | 19,161 | 8,034 | 4,584 | 31,781 | — | 31,781 |
| セグメント利益 | 1,305 | 683 | 404 | 2,394 | — | 2,394 |

(注) 本邦以外の区分に属する国又は地域は以下のとおりであります。

アジア: タイ、中国、インドネシア

北米: 米国、メキシコ

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 2,394 |
| 「その他」の区分の利益 | — |
| セグメント間取引消去 | 250 |
| 全社費用(注) | △230 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 2,414 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。